

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:10 事業名:乳用牛群検定推進事業費

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>検定を導入することで農家が得られるメリットが大きいこと、検定の導入を推進したい規模の農家があること等から、検定加入農家の目標数を増やしていく方向で、改善をしてもらいたい。</p> <p>牛群検定を行うために必要な検定員の人数などの制約があるかと思うが、3戸増加を当面の目標として取り組んでいただきたい。</p> <p>検定の推進にあたっては、農家の収益向上を目指すだけでなく、検定農家の拡大による離農の防止、検定活用による6次産業化の検討など、山梨県全体の酪農業の発展に繋げてもらいたい。</p>
五味アドバイザー	「要改善」	<p>大切な事業だと感じた。今後は、検定農家を増やすことにもっと積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>検定の実施には、農家の時間的な制約もあると聞いたが、今後の技術革新などにより、そういった問題が克服できるように期待している。検定農家の目標数は、さらに高いものを望みます。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>県内乳用牛の機能向上と酪農家の収益向上に貢献度が高い事業だと感じた。</p> <p>最新技術の開発やICTの進歩がめざましいので、簡易な検定方法の導入や更なるデータ活用を図り、未加入農家への情報提供を行うことで検定加入農家の増加を望みたい。</p>